

ふりがな 氏名	かねおか りえ	都 道 府 県	神奈川県	
	兼岡 里衣			
所属/肩書	藤沢市立善行中学校 / 教諭			
関心・活動のSDGs				
私のESD活動	中学校で5年間、ESDに取り組み、世界の現状を「知って・考えて・伝える」活動を進めた			
活動の概要				
<p>○総合的な学習の時間</p> <p>テーマは「知って・考えて・伝えて・・・」である。最後の「・・・」には、その先は、生徒それぞれが「自分にできることは何か」を考えて行動し続けるという意味が込められている。一年次では、世界一大きな授業やマララさんのスピーチを通して世界の現状を「知った」。2年次では、100人村のワークショップなどで世界の現状を体験的に「知った」。「SDGsで未来を創る」をテーマに調べ学習を行い、意見文の発表を行った。自分には何ができるのかを「考えて」、みんなに「伝える」活動を行った。3年次では、修学旅行でヒロシマを訪れ、学んだことやヒロシマの心を「伝える」活動を行った。学校や地域に平和の輪を広げた。</p> <p>○生徒会活動</p> <p>福島復興支援のための「ひまわりプロジェクト」を有志ボランティアと一緒にいった。食用ひまわりを育て、収穫した種を福島に送った。また、文化祭の時に、有志ボランティアと一緒に学校へ行けない、安全な水を得られないなど、世界の課題を知ってもらう展示と、ユニセフ募金活動を行った。これらの活動を行った結果、生徒は世界の課題についての関心を高め、学年の生徒全員でいくつかの駅に分かれてユニセフ募金活動を行ったり、平和学習実行委員が中心となってオバマ大統領へ手紙を書いたりした。世界の課題を自分事として捉え、自分達にできることを考えて行動するようになった。</p> <p>・JICA HP内：藤沢市立善行中学校「地球市民学習」の取り組み https://www.jica.go.jp/yokohama/topics/2015/ku57pq00000f472w.html</p>				
私が考える教育の未来像				
<p>○機械化・・・AIの発達により、これまで人が行っていた労働を機械が行うようになる。人が幸せに生きていくためには、AIを扱う力やAIにはない力を身につける必要がある。読解力、コミュニケーション力などを身につけ、答えのない課題について他者と共に考え、解決していく力を身につけることが大切である。</p> <p>○多文化・・・情報科・グローバル化がますます進行し、自分とは異なった文化を持った人との関わりが増える。そのような人とも共に生活したり、働いたりして、社会を形成していかなければならない。人によって「当たり前」が違う。宗教や生活習慣など、自分とは異なった文化を理解、尊重し、共に生きていく姿勢を育む必要がある。</p>				
私の強み、活かせる経験やスキル				
<p>○行動力・・・富士登山競走、トライアスロン、マラソン、100kmウォーキングなど、自分がやると決めたことには必ず実行し、目標を達成した。仕事では、2019年、SDGsや多文化共生について、自主的に研修に参加し、そこで学んだことを実践に役立てた。学校に講師をお招きして講演会を3回実施した。行動力でチームの推進力となることができる。</p> <p>○計画性・・・総合的な学習の時間の担当として、3年間を見通した計画を立て、学年会で提示した。また、年度始めには、年間の詳細な計画を立てた。実施する時間がないという理由で、実行できないことがないようにした。また、誰もが取り組めるように指導案や教材を準備した。</p>				